

地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	茨城県大子町	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	大子町文化遺産総合活用推進事業	【計画の改善時期】 平成32年度	
4 実施計画期間	平成 30 年度 ～ 平成 34 年度		
5 実施計画の概要			
<p>「大子町文化財保存活用計画（平成24年4月策定）」を踏まえ、大子町の「たから」である多様で豊かな文化遺産を総合的に活用し、文化振興とともに地域経済の活性化を推進することを目的とし、以下の普及啓発、人材育成、継承、記録作成等を実施する。</p> <p>また、実施計画期間中は、下記の取組を通じて、地域全体で文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の確立と協働体制の確立を目指す。</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画による各補助事業に係る指導等は、大子町教育委員会事務局生涯学習担当が行う。補助事業の全体企画・調整及び事業実施は、大子町の文化遺産を活かす推進委員会が行う。</p> <p>委員長：渡辺和行 構成員、構成団体：木の文化塾、中田植保存会（町指定文化財）、浅川のささら保存会（県指定文化財）、大子郷土史の会、観光ボランティア大子、大子町文化財保護審議委員会委員、らっしやい・でえご隊等</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 44,048 千円	平成31年度申請額： 1,252 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>町民の地域の文化遺産に対する関心や意識が向上し、町民による文化遺産の保存と活用、次世代へ継承するための活動が活発になるとともに、地域にある文化遺産の再発見と行政と文化財保護団体、民間団体による連携・協力体制が構築される。また、文化遺産を活かした観光やイベントなどの普及啓発活動などから、地域の活性化が期待できる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>平成24年4月に策定した「大子町文化財保存活用計画（大子町教育委員会）」の目的や内容を推進するため、平成25年～27年にかけて本事業の実施により、地域一体となって文化遺産の保存活用を図る機運を醸成してきた。今後も大子町の文化遺産の総合把握を進め、歴史文化基本構想の策定やその時期、体制について検討を行う。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	大子町教育委員会事務局生涯学習担当		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	地域の文化資源を活用した集客・交流				
評価指標区分1:	文化遺産が所在する最寄駅の乗降者者数 (具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標1:	常陸大子駅の乗降者数	関連事業:	①②		
目標値1:	【現状値】 平成 29 年度 324 (人/日) ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 450 (人/日)				
設定根拠1:	大子町の主要駅である常陸大子駅の乗降者数を, 1.1倍の年間推移と, 5年後に450人/日を目標値として設定する。				
進捗状況1:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率				
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
現時点で不明 (人/日)	(人/日)	(人/日)	(人/日)	(人/日)	(人/日)
#VALUE!					
目標区分2:	地域の文化資源を活用した集客・交流				
評価指標区分2:	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標2:	袋田瀧への来場者数	関連事業:	①		
目標値2:	【現状値】 平成 29 年度 528,157 (人) ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 700,000 (人)				
設定根拠2:	袋田の瀧への来場者数に対し, 1.07倍の年間推移と, 5年後に70万人を目標値として設定する。				
進捗状況2:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率				
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
516,891 (人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
-7%					

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	大子町ボランティアガイドの育成講座	実施団体：	観光ボランティアガイド大子			
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 34 年度			
事業概要：	町内の文化遺産を総合的に紹介できるガイドを養成することを目的に、養成講座を実施する。特に、近年指定・登録された町内の文化財や、近年調査研究が進行している、伝統産業や祭祀・山車屋台について学び、その歴史と特長を学ぶ。					
評価指標区分：	・ボランティアガイド育成講座修了者の後年度活動者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	大子町ボランティアガイド養成講座修了者のうち継続的にボランティアガイドとして活動する人の増加					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 20 (人) ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 40 (人)					
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	
16 (人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
-20%						
事業②：	大子町の文化遺産の現状や未来をテーマとしたシンポジウムの開催	実施団体：	大子町の文化遺産を活かす推進委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 34 年度			
事業概要：	文化遺産の活用と地域を活性化させることをテーマとして、町内で活動している団体の活動報告を行うシンポジウムを実施する。シンポジウムでは、大子町の文化遺産の魅力を活かすためにできることを、会場に集まった町民間で語り合う場を設ける。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	大子町の文化遺産を活かす推進委員会に加盟する団体数の増加					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 6 団体 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 10 団体					
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	
6 団体	団体	団体	団体	団体	団体	
0%						